

令和7年8月27日

浜松市産業部林業振興課 御中

静銀経営コンサルティング株式会社

## 天竜林業イノベーションスクール第6回 実施報告

### 1. 実施概要

日時：令和7年8月26日（火）14:00～17:00

会場：グランドホテル浜松2階桃山

スクールカリキュラム：

内容	講師
「ブランディング」について	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
「次のものづくりのあり方。つくり方」	㈱TIMELESS 永田 宙郷氏
ワークショップ 天竜林業を有名人に例えると	静銀経営コンサルティング㈱ 吉田 祐樹
	㈱TIMELESS 永田 宙郷氏

### 2. 講演内容

#### (1) 「次のものづくりのあり方。つくり方」

前回の西栗倉村の事例について、参加者の意見として「天竜林業の営みを未来に受け継ぐこと」や「ブランド力の強化」が今後の重要な戦略要素になりえるとの意見があったと述べた。

また、第6回のテーマであるブランディングについては、ブランドの定義と構成要素としてフィリップ・コトラーの理論をもとにパタゴニアの事例を紹介し、天竜林業における「哲学」と「ものがたり」の構築の必要性を示した。



#### (2) 「次のものづくりのあり方。つくり方」

㈱TIMELESSの永田氏をお招きし、ブランディングや新しい視点の発見方法などを学んだ。特定の概念や枠組みに固執せず物事を多角的に捉えること、柔軟かつ広範な視野を持つことが大切であると述べた。例えば、しりとりのような単純な遊びから連想を

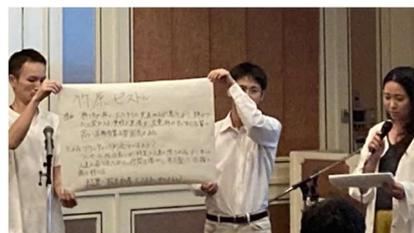


重ねることで思考が広がり、林業に関する新たなアイデアの着想につながることもあると説いた。成功や失敗の要因を丁寧に検証し、次に活かす姿勢が重要である。その際には一人で抱え込まず、多様な立場の人々の意見に耳を傾けることが、より良い判断と成長につながると述べた。

### (3) ワークショップ

各グループにおいて、天竜林業を有名人に例えると誰にあたるかを話し合い、その人物像をもとにどのような方向でブランディングを行い、どのような存在へと変化させていきたいかについて発表を行った。竹原ピストルさんから

Mr. Children 桜井さんや高倉健さんからピコ太郎さんへなど自由な発想が飛び交い、創造的な雰囲気に満ちたワークショップとなった。



以上